

レスキュー練習会・海上パトロール

令和2年6月29日

- 日時：令和2年6月 6日（土） 海上パトロール 9：00～12：00
6月 20日（土） 海上パトロール 9：00～12：00
6月 28日（日） レスキュー練習会 9：00～12：00

■ 場所：マリパーク御前崎、御前崎沿岸

■ 参加者：増田(洋)、福井、野形、内藤、小野、土屋、永田、
浜松ライフセービングクラブ×3名・御前崎消防署×5名

6月度も先月に続き、計3回の海上パトロール・レスキュー練習会を実施。全国的に新型コロナウイルス感染状況が縮小傾向となったことから月末にはレスキュー練習会も開催した。

6月6日(土)の海上パトロールは天候・潮周りともに良いということもあり、渚の交番前周辺の磯場を重点的にパトロール。予想通り磯場には自粛明けということで、家族連れを中心に海へ訪れる観光客で溢れかえっていた。大潮の際は沖の岩場まで入ってしまい、帰ってこられない事案が多いため、気になった方には声かけを実施。その後、新野川から御前崎マリーナまでまんべんなくパトロールしたが、特に異常もなく、無事帰着。

6月20日(土)も6日に引き続き海上パトロールを実施。開始直後、御前崎港内の航路海面に大きな流木を発見。航路上からの除去作業の際、ジェットインテーク内に海藻を吸い込んでしまい、1艇が航行不能となってしまった。そのため、海藻除去作業のため、もう1艇のパトロール艇で御前崎マリーナまで曳航。実際の現場での曳航は経験者が少なく、トラブル対応とはいえ未経験者にはよい訓練ともなった。マリーナにて海藻を取り除いたのち通常のパトロールを再開。それ以外は特に異常もなくパトロール終了。

6月28日(日)は4月より延期となっていたレスキュー練習会を開催。練習会には御前崎市消防・浜松ライフセービングクラブ・御前崎渚の交番スタッフの計12名が参加。練習会前のブリーフィングを簡単に済ませ、海へ。まずは参加者の中にK38インストラクターの方がいたため、水上オートバイ上での基本的な動作、アイドリングでの艇の取り回し、その他の留意点などをレクチャーしていただいた。消防の方たちも普段聞きなれない内容もあったためか、熱心に聞き入っており、質問などもされていた。その後、実際の現場での動きを想定したターン練習、アプローチ練習、ドッキング練習などを反復して行った。それぞれ基礎のレクチャーで得たものを実際の動きに生かそうと奮闘されている場面が見受けられ、とても有意義な訓練となった。

今夏も海岸には多くの人が様々な目的で訪れると思われる。海水浴場も開設されず、当然事故の確率も上がることが予想されるため、不測の事態に対応できるよう、これからも訓練に励んでいきたい。

